

社会性報告

人 間性の尊重、快適な職場環境の確保

◆雇用・採用に関する基本方針

双信電機グループでは事業の中長期成長を見据えた人員計画を立て、雇用の安定に努めています。新卒の計画的採用を行うと共に、社内ローテーションを積極的に展開し、必要な能力・経験を持った人材の適正配置を進め、社員の働き甲斐、働き易さを意識した活動を推進しています。

◆個性と多様性の尊重

障害者雇用については法定雇用率 2.0%を超える 2.64%（2017 年 4 月実績）となっています。また、定年退職後の再雇用制度を導入し、フルタイム、パートタイムなど個人のセカンドライフプランに合わせた柔軟な勤務形態を用意しました。

◆ワークライフバランスの実現

女性社員の多くが産前産後休暇や育児休暇制度を利用し、仕事と育児の両立を果たしています。

このほか、リフレッシュ休暇制度や計画有給取得制度を活用し、心身のリフレッシュを図れる制度を整えています。

◆安全衛生

双信電機グループでは、従業員の安全及び健康を確保し、快適な作業環境の形成を促進すると共に、業務災害ゼロを目指して安全衛生活動を最優先に積極的に展開しています。

主な活動としては、危険要因の顕在化を目指した活動を行い、全国労働安全週間と全国安全衛生週間にあわせ、ヒヤリハット活動・危険予知トレーニングを実施し、従業員からの提案に対処し、大きな成果を上げています。更に拠点相互の設備事故未然防止相互パトロールも半期ごとに実施し、安全を確かなものにしています。

また、昨年度よりストレスチェックを実施し従業員の健康増進を目的に、保健師を活用した健康管理体制も充実させ、従業員の心身の健康維持に努めています。

このような活動により、双信電機グループにおいては重大な業務上災害は過去 6 年間発生していません。引き続き従業員の安全確保と健康維持を最優先に活動を継続していきます。

◆こころの健康づくり

双信電機グループではメンタル不調に関する知識習得、セルフケア、ラインケアなどについて研修会などを実施し、産業医、顧問医、保健師、カウンセラー、産業保健スタッフが一致団結してこころの健康づくりに取り組んでいます。

また、長時間労働対策に関しても強く推進しており、残業時間の管理徹底、管理職への教育、定時退社日の徹底などを実施しています。



管理職研修



佐久消防署員による救命法（AED）講習会

地域社会との協調、社会貢献活動の推進

国際ボランティアデー 社会貢献一斉アクション

東京本社が入居するビル内の企業が共同してフェアトレード商品の販売を行ない、開発途上国の生産者支援に参加しました。

※フェアトレードとは、適正価格で商品を購入することで、生産者の生活を支援する仕組みです。



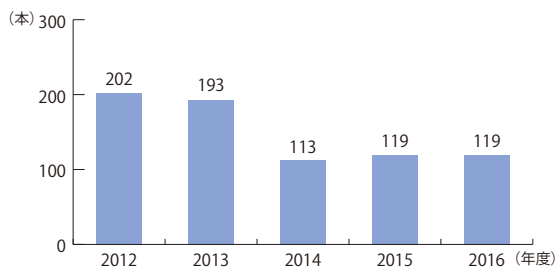
高齢者総合支援センターの 避難訓練参加協力

双信パワーテックにて近隣の高齢者総合支援センターの避難訓練に協力しました。



エコキャップ運動

2008年より活動を始め、2016年度は119本のワクチン数となりました。



双信電機杯スポーツ大会による 地域との交流

第16回双信カップテニストーナメント



第31回双信電機杯バレーボール大会



インターンシップの受け入れ

長野・宮崎地区において、地元の高校生の工場見学や職場体験を実施しました。



クリスマスプレゼント

双信パワーテック及び双信デバイスの近隣の保育園にそれぞれクリスマスプレゼントを贈りました。

